



HAPPY MEDIA

長井市・白鷹町・飯豊町・小国町 地域みっちゃく生活情報誌®

西

おきたま

月刊

おまへる

2025

10

OCTOBER vol.115

総発行部数 22,000部

無料各戸配布 19,586部

無料設置 2,414部

無料配布誌

わくわくは、
そら 宙にある

巻頭特集

佐藤文隆記念

白鷹宇宙
探検隊



学びの秋

習い事・趣味活

おきたまグルメ店

人気の秘密はココにアリ!

10月1日は

コーヒーの日

ビューティー&ヘルス

本気で変わる秋

佐藤文隆記念

白鷹宇宙探検隊

わくわくは、 宙にある

宇宙物理学者の第一人者が、
白鷹町鮎貝出身だとご存知でしょうか？
その方は、京都大学名誉教授であり、白鷹町名
誉町民である佐藤文隆先生です。故郷を愛し、
町立図書館が開館した際には多くの蔵書を寄
贈されるなど、今もなお故郷への思いが薄れる
ことはありません。
そんな郷土の大先輩に続け！と、3年前から
活動しているのが『佐藤文隆記念 白鷹宇宙
探検隊』です。今回は、子どもたちの探究心を
育む探検隊の活動をご紹介します。



佐藤文隆先生と隊員

サイエンスの世界へようこそ

2019（令和元）年にリニューアルオープンした白鷹町立図書館。木の香りがする館内の一角に「佐藤文隆文庫」があります。宇宙や星をイメージしたディスプレイが空間を演出します。「ここには文隆先生の著書に加え、湯川秀樹博士直筆の書など先生と交流のあった著名人から送られた書籍、そして先生からの寄付金によって揃えた絵本など約3250冊の本が並んでいます。宇宙や科学関連の蔵書も多く、学習会等で専門家ともつながっているため、宇宙に1番近い図書館なんです」と当館館長の中川栄子さんが案内してくれました。そして、ここが『佐藤文隆記念 白鷹宇宙探検隊』（以下、探検隊）の学習拠点です。
探検隊が発足したのは2022（令和4）年。佐藤先生に続く人材を育成し、寄贈された文庫の活用促進に繋げようとの思いと、佐藤先生のご厚意もありプロジェクトがスタートしました。小・中学生を対象とし、宇宙、物理、科学などサイエンスの世界に触れる場を提供しています。現在、隊員は小学2



年生から中学2年生の7人。白鷹町だけでなく、町外からも参加しています。

探究心をはぐくむ

指導するのは、宇宙物理が専門の山形大学名誉教授 柴田晋平さんを始め地元の講師3人。教員として子どもたちと関わってきた竹田久次さんは天体や生物を、警察で鑑識官として長年活躍された加藤晃一さんは地学の分野を、そしてサイエンス・レンジャー（科学の魅力を伝える科学実験のエキスパート）として活動する中川俊則さんは科学工作を担当しています。活動は土曜日。年に12回程度実施し、工作などの屋内活動のほかフィールドワークも行います。



加藤 晃一さん
講師・宇宙物理学・地学担当



柴田 晋平さん
顧問・山形大学名誉教授

「マイ星座早見盤」作りは人気のプログラムです。一般的な星座早見盤は東京を軸に構成されていますが、ここで作製するのは柴田さんが考案した、山形市の緯度・経度を基に星座を知ることができるオリジナル。子どもたちはラメやシールを使って思い思いにデコレーションするなど楽しそう。他にも、回すと3Dに見えるコマの作製や、実際に天体観測を試みたりと活動内容はさまざま。

地学をテーマにした学習会はフィールドワークが中心です。町内にある「タマネギ石」や宮城県白石市の「小原の材木岩」といった、地質学のおもしろそうな場所を選んで地層見学へ出かけます。「化石採取に行った時は、みんな夢中で石を割って化石を探していました。昔、このあたりは海の底だったけど、隆起して山になったんだよ」と説明すると子どもたちは興味を持って聞いてくれます。加藤さんは、こうした経験が地学への関心に繋がってくれることを期待しています。

福島県飯館村にある、東北大学惑星

圏飯館観測所を見学したこ

とも。そこに

は、木星から

放出される放

射光の時間的変

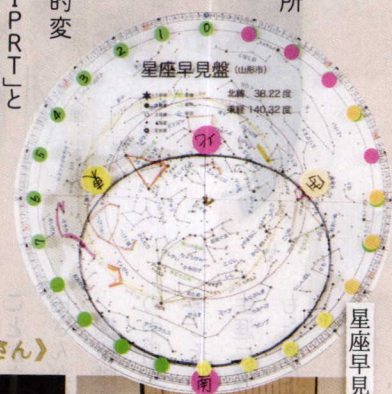
化を調べる「IPRT」と

いう巨大な惑星電波望遠鏡があります。普段は研究者しか足を踏み入れないハイレベルな施設を見学できるのも、探検隊だからこそです。

小さなわくわくが

ロマンへ

大人をも夢中にさせるサイエンスの世界。先生方が虜になったきっかけを聞いてみると、柴田さんは「星を見て、キラキラきれいだと思ったことが始まり」だそうで、4歳の頃は「大きくなったら宇宙博士になる!」と語っていたとか。「最初は小さな疑問も、好奇心を持ち続けていると少しずつ興行きが出てきます。『きれいな』というわくわく感が、宇宙の神秘に対する興味へと広がっていくんです」と目を輝かせます。博士になる夢を叶えた今も、宇宙への興味が尽きることはありません。加藤さんも理科が大好きな少年だったそうで



星座早見盤の作製

Q 飯館観測所

Q 学習会(柴田 晋平さん)



飯館惑星電波望遠鏡「IPRT」の前で全員集合



自作受信機を作って、宇宙の音をキャッチ



星の観察



隊員インタビュー

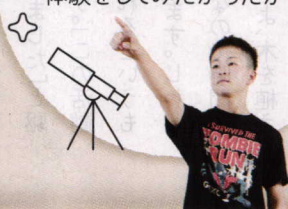
伊藤瀬七さん

参加してみようと思った理由は?

「他ではできないような体験をしてみたかったから」

木村耕太郎さん

「『そうたいせいりろん』という絵本を借りた時、図書館の人に誘われたから」



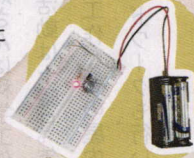
隊員インタビュー

どんなところが楽しい?

前田直希さん「工作。
星座盤を自分で作って
楽しかった」

前田佑也さん「おもしろい話が沢山
聞けること。この前のプラネタリウ
ムの話がすごく好き」

信夫 慧さん「新しく知ったことから、また
疑問が出てきてわくわくするところ」



電子回路を作ってLEDを光らせよう
&オルゴールを鳴らそう

学習会〈竹田 久次さん〉



学習会
「星からのメッセージ」



学習会
「植物の不思議」

学習会〈加藤 晃一さん〉

化石採集



朝日風穴見学

材木岩見学



竹田 久次さん

講師・物理学・天文学・生物学担当



中川 俊則さん

講師・物理学・科学工作担当

「化石を取りに行き、金色に光る『黄銅鉱』を拾ってきたのは『これ、金だ、金だ!』と友達に見せびらかしたり。後になって金じゃないことがわかりましたけど」と懐かしそうに笑いいます。「私が小さい頃は身の回りにたくさん不思議なものがありましたからね。ラジオだって真空管式だったので中身を見ることができた。植物でもなんでも触れて遊んだものです。時代が変わり、ブラックボックス化する世の中であっても『不思議だなあ』と思ったら、現象に気づくことがとても大切なんです」と竹田さん。3人の話を聞きながらうなずいていた中川さんも「子どもの時は好奇心旺盛で、ちよつとしたことにも疑問



を持っていたはずなのに、大きくなるにつれて『ま、いいか』と興味が薄れてしまう。でも、小さな疑問でも自分で解決したときはうれしいし、繰り返し充実感を味わうことは科学だけでなく、生きる上でも役に立ちます」と続けます。「小さい頃には宇宙や科学のことに興味を持っていても、テストで点数をつけられるようになると楽しいことが苦しくなっちゃう」と柴田さん。「自分も学生の頃はわからないと点数が取れないので苦しかったなあ。今はわからないことがあるから楽しいですよ」と竹田さんが続きます。

探検隊事務局を兼任している館長の中川栄子さんは「大人になっても楽しそうに学び続ける先生方の姿は生涯に渡って学ばずにはいられません。子どもたちに良い影響を与えてくれてい

心が育つ過程を大切に

ます」と日頃の様子を教えてくださいました。興味は人間がもともと持っている心理。探検隊を通し、楽しく学ぶことでサイエンスに興味を持てればというのが共通の思いです。



中川 栄子さん

探検隊事務局・図書館館長

がった。これからも宇宙に関心を持つて楽しんでいきたい」「天文台や大学の研究室を訪問したり、学校ではやらない学習があつて興味深かった」などの声が寄せられているそうです。隊員たちを間近で見ている中川栄子さんも「わからないことを躊躇しないので質問できるようになり、上級生が下級生をフォローする姿なども見られるようになりました」と変化を感じているようです。

学ぶことの楽しさを

講師のみなさんに、これからの活動目標について何うと「科学に限らず幅広い分野に対して、知りたい」という思いと「わかった」という実感が持てる機会を提供していきたい。行政から支援をいただき、白鷹町の環境、人材、人脈を生かした学びの機会を町内外の子どもたちに用意できたいですね」と中川さん。加藤さんは「少しでも自然科学に興味を持つてもらえれば。教える」というよりも「一緒に勉強する」という姿勢でこれからも関わっていききたい。もつといろいろなフィールドに出て勉強したいと思っています」と。竹田さんは「なぜ?どうして?と働きか

けると答えてくれるのがサイエンス。働きかける「気づき」の大切さを伝えていきたい。そして、各分野において科学的な思考で取り組める人材が増えてくれることを願っています」と話してくれました。

最後に、柴田先生から子どもたちへメッセージが。「学ぶことトライしてみること、その気持ちを大切にしてください。でも、知識がなくてはトライしてもうまくいきません。だから勉強することが大事です。そう語る口調は力強くも優しく、幾千の星が輝いているようなキラキラした瞳が印象的でした。

体験せずとも、さまざまな情報を手元で簡単に得られる今の時代。だからこそ、この探検隊での体験と経験は貴重なものです。子ども達の興味関心や探究心が、どこまでも広がる宇宙のようにどんどん広く大きくなっていくように。

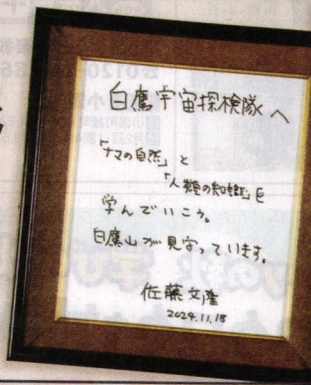
お忙しい中、取材に協力いただき、ありがとうございました。

佐藤文隆記念 白鷹宇宙探検隊

町内外問わず、小学生高学年から中学生の男女共に参加することができます。

▶主催：白鷹町教育委員会

▶問い合わせは、探検隊事務局まで
0238-87-0217 (白鷹町立図書館)



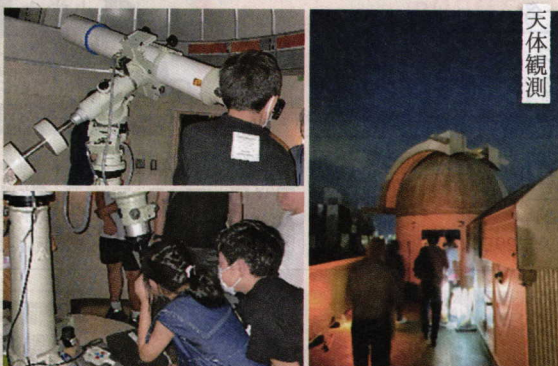
Q やまがた天文台



星座の話



中森健之教授の
研究室見学



天体観測

保護者の声

普段は学べない内容で、親も一緒に体験ができ、楽しみな会です。帰宅後も学んだことを親子で話題にすることができるのもいいですね。

親子共に宇宙が身近な存在になりました。

町外でも、このような数々の学習会に参加させていただけることに感謝しています。

先生方がフレンドリーに接してくださるので、大学の先生にも気軽に質問している様子も見られ、ありがたく思っています。

隊員インタビュー

これから知りたいことは?

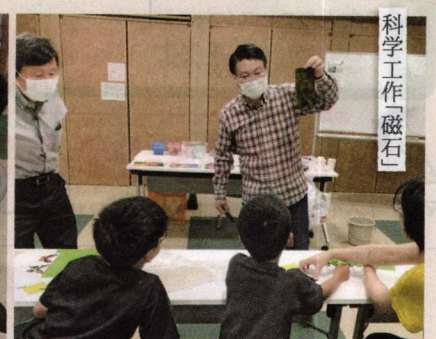
川部太輔さん
「惑星の共通点」

鈴木笙太さん
「星の成分について」

Q 学習会《中川 俊則さん》



科学工作「光」



科学工作「磁石」